



WAKUWAKU2030 第1回ワークショップ ～開始までしばらくおまちください～

- お名前の設定：ご所属_お名前でお願いいたします。
※お名前は、事務局以外の参加者には表示されません。
- マイクは事務局側でミュートの操作を行いますので、傍聴の皆様は操作できません。
- ディスカッション中、ご質問のある方は挙手ボタンにてお知らせください。事務局にてマイク解除等を実施いたします。



- Q&A機能でのご質問も可能です。事務局にて質問を読み上げさせていただきます。



Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会

WAKUWAKU2030 第1回ワークショップ

Beyond5G推進コンソーシアム事務局
(NTTデータ経営研究所)

- ① はじめに…10分
 - ①-1：開催挨拶
 - ①-2：本日のパネリスト/有識者のご紹介
- ② ワークショップの趣旨説明…5分
 - ②-1：WAKUWAKU2030におけるアウトプット目標
 - ②-2：第1回ワークショップの目的
- ③ インプット
 - ③-1：有望と想定される産業ユースケース（メディア、機械、自動車、医療）…20分
 - ③-2：パネリストからの活動情報提供…10分
- ④ ディスカッション…70分
 - ④-1：今後DXやICTの導入推進が求められると想定される産業や利用シーン
 - ④-2：プロモーター/サポーター等の立場から見たときに、DX・ICT導入の実態や課題は、どのように見えているか
 - ④-3：事業化へのハードルを乗り越えていくために、各プレイヤー3者がそれぞれ/協力して行なうべき取り組み
- ⑤ 閉会…5分

【有識者】

- 岩浪剛太 株式会社インフォシティ 代表取締役/
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）アプリケーション委員会 委員長
- 金田 泰昌 東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部 通信技術グループ グループ長
- 日下 光 一般社団法人 Govtech協会 代表理事
- 高野 雅晴 株式会社ビットメディア 代表取締役社長/
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）アプリケーション委員会 利用シーンWG 主査
- 水船 慎介 TIS株式会社 ビジネスイノベーションユニット ストラテジー&イノベーションコンサルティング部 シニアマネージャー

【Beyond5G推進コンソーシアム白書分科会ビジョン作業班】

- 小西 聡（ビジョン作業班リーダー） 株式会社KDDI総合研究所
- 内野 徹 クアルコムジャパン株式会社
- 栗田 大輔 株式会社NTTドコモ
- 小崎 成治 三菱電機株式会社
- 朱 厚道 華為技術日本株式会社

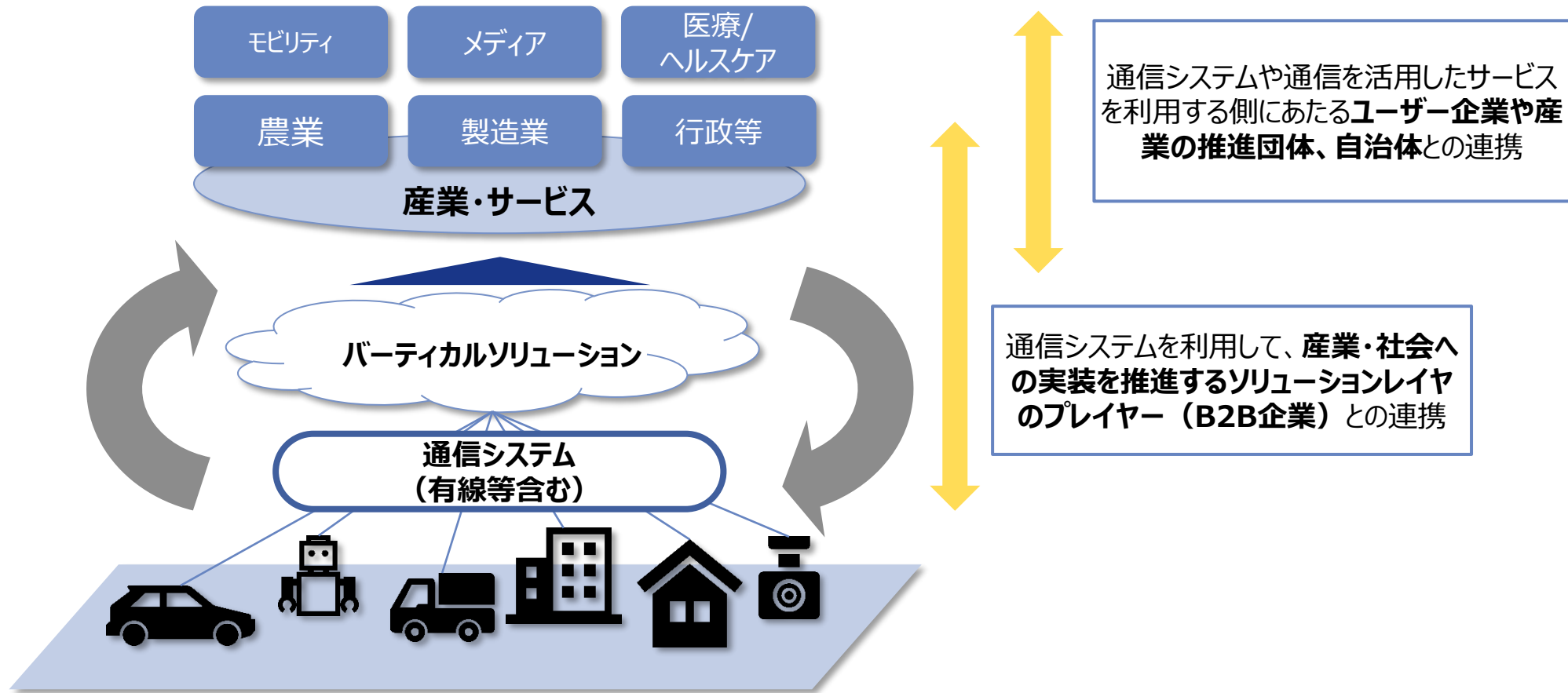
【オブザーバー】

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室

【事務局】

株式会社NTTデータ経営研究所（司会進行）

- 最終的な利用者にあたる**ユーザー企業**や通信を機能として活用し、産業向けにサービスやソリューションを展開する**B2Bのプレイヤー**との連携を推進する



通信システムや通信を活用したサービスを利用する側にあたる**ユーザー企業**や**産業の推進団体、自治体**との連携

通信システムを利用して、**産業・社会への実装を推進するソリューションレイアのプレイヤー (B2B企業)**との連携

通信とユーザー企業、サービサー等の非通信事業者との架け橋となる役割を担い、一社ではでも思いつかないようなビジネスアイデアの発想やビジネス機会を創り出していく

- DXやICTの導入やBeyond5Gを含む通信技術の適用が期待される産業分野を選定し、**当該産業の今後の飛躍のために求められる社会実装プロジェクト案（5つ以上）**を策定する
- B5GPCホワイトペーパーで挙げられている各産業の将来的なテーマや将来像をインプット※にプロジェクト案を作りあげていく
※あくまでインプットであり、プロジェクト案はホワイトペーパーに掲載されているものに限らない

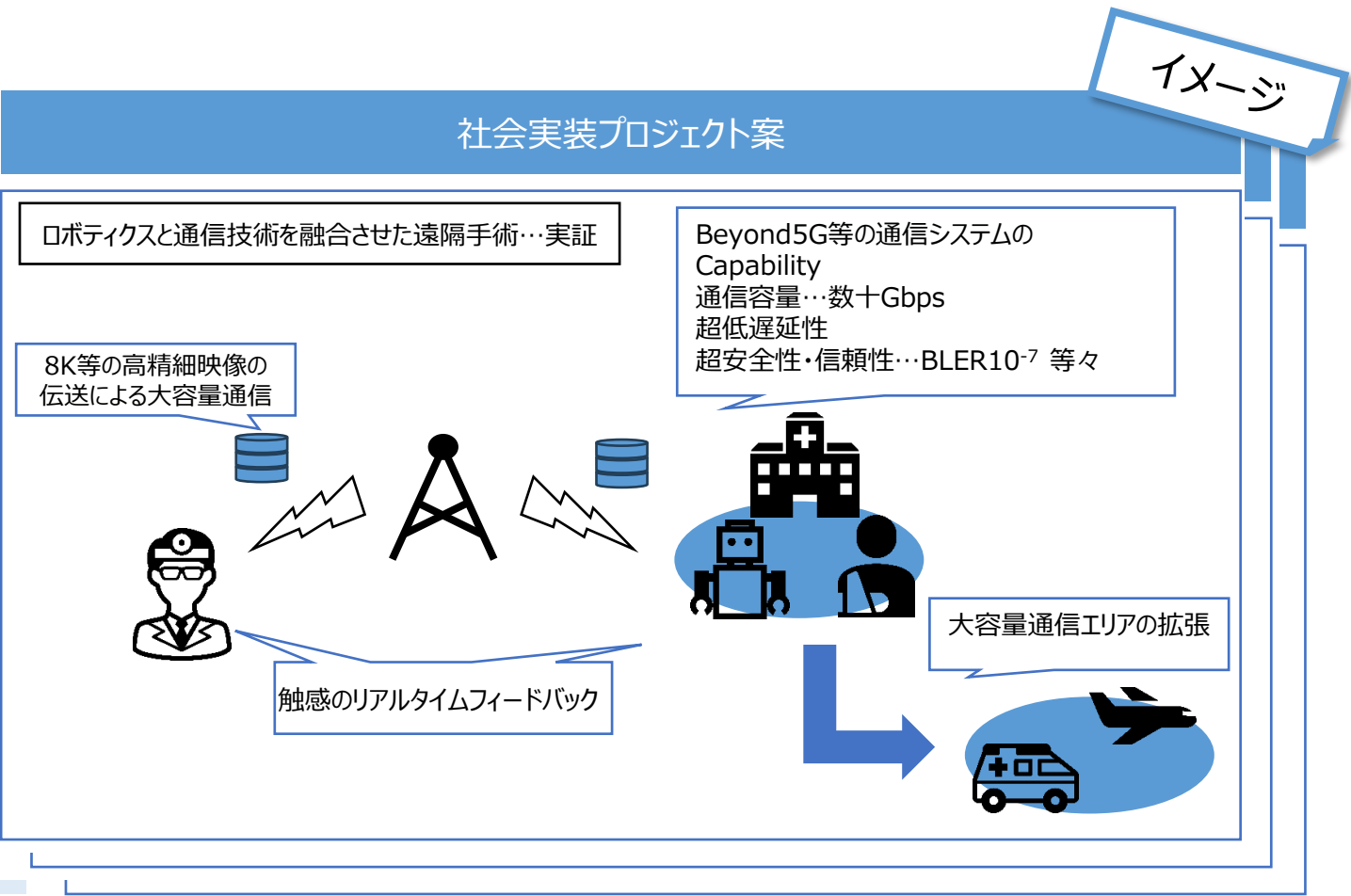
医療

社会実装プロジェクトのテーマ案
(B5GPC白書より)

- ・ 知覚機能の補助及び再現
- ・ 接触機会低減及び感染状況把握
- ・ 新薬開発
- ・ サイバー空間における医療データベースの構築
- ・ 遠隔手術
- ・ AI 遠隔診断
- ・ リアルタイム健康管理
- ・ 低侵襲治療及び患部直接治療

社会実装に向けて求められる活動

- ・ 構想の検討、人材育成・教育（初期フェーズ）
- ・ 実証（立ち上がりフェーズ）
- ・ エコシステム形成、マネタイズ（成熟フェーズ）

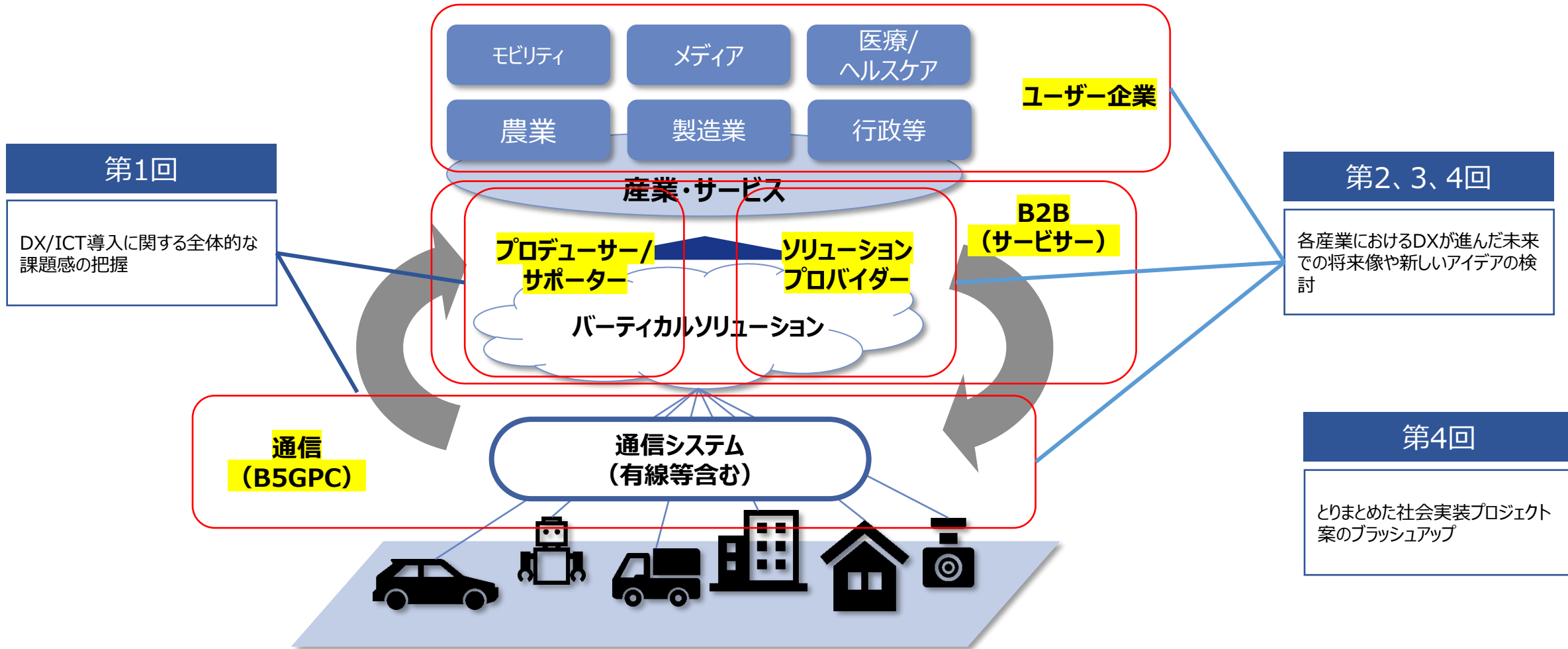


ワークショップのスコープ：通信システムに限らず、各産業における**DXやICT導入に関するトレンドや実態、将来像等**について議論を行う

- 議論を重ねていく中で、5G等の次世代通信システムに対する理解を深め、3者でのビジネスアイデアの発想やビジネス機会の創出を目指す

	現状把握 第1回	将来像検討 第2、3回	社会実装 プロジェクト案 の検討	ブラッシュアップ 第4回
目的	DX/ICT導入に関する実態や課題感の把握	各産業におけるDXが進んだ未来での将来像や新しいアイデアの検討		
議論内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> 今後DXやICTの導入推進が求められると想定される産業や利用シーン プロモーター/サポーター等の立場から見たときに、DX・ICT導入の実態や課題は、どのように見えているか 事業化へのハードルを乗り越えていくために、各プレイヤー3者がそれぞれ/協力して行なうべき取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ 通信側の機能的な面での期待値やギャップ どういったテーマ、プロジェクト、支援策、があるとよいか/取り組みやすいか→導入のテーマや喫緊の課題は何か。 この業界は今ICTの導入状況としてどのようなフェーズにあると考えているか 		<ul style="list-style-type: none"> 作成した社会実装プロジェクト案を基に、実装に向けて必要な要素や課題等について深堀検討を行う

- 多様なバックグラウンドを持つ参加者と議論をすることで、通信サイドからは見えづらい産業の実態や思いつかないアイデアや気づきを得る。



- 海外の6Gの推進団体や機関等において言及されているBeyond5G/6G関連のユースケースを参照し、対象とする分野を絞り込み。

発行元	WP	対象分野
Beyond5G推進 コンソーシアム	Beyond 5G ホワイトペーパー ～2030年代へのメッセージ～	金融、建設・不動産、 物流・運輸 、通信・IT、 メディア 、エネルギー・資源・資材、 自働車 、 機械 、電機・精密・半導体、 農業・水産業・食料・生活関連 、小売・卸・流通分野、 サービス・公共サービス・法人サービス（医療、行政・教育） 、飲食業界（外食産業）、娯楽・レジャー、学問（計15分野）
Next G Alliance	6G Roadmap for Vertical Industries	農業、自働車、教育・ゲーム・エンターテインメント 、eヘルス、 工場 、 鉱業 、公共安全、 スマートシティ （計8分野）
6G Flagship	Key drivers and research challenges for 6G ubiquitous wireless intelligence	工場 、建設、 都市開発 、 物流/輸送 、 ヘルスケア （計5分野）
Oulu univ.	6G White Paper on Validation and Trials for Verticals towards 2030's	ヘルスケア 、 工場 、金融/FinTech、Society5.0、 輸送 、 教育 、 農業 、エネルギー（計8分野）
ITU-T	Network 2030	モビリティ 、 ヘルスケア 、 エンターテインメント 、 工場 、 教育 （計5分野）
McKinsey	Connected world: An evolution in connectivity beyond the 5G revolution	ヘルスケア 、 工場 、 モビリティ 、 小売 （計4分野）

**モビリティ（自動車）、医療・ヘルスケア、農業、メディア（エンターテインメント）、製造業、行政（行政DX・スマートシティ）、物流、教育
計8分野※暫定※**

- ユーザー、サービス提供者、通信の3者が共創を進めていくにあたって、実態や課題等について議論を行う

共創の活動の実態（仮説）



【課題設定・背景】

- 産業会や社会に対して、多大な効影響をもたらすものとして期待される中リリースされた5Gであるが、「これぞ5G」といったキラーコンテンツが創出しきれていないのが現状である。
 - 通信キャリアによるオープンイノベーションプログラムや政府の実証事業等も行われているが、**事業化に至るまで、高いハードルがあり、事業化の事例も少ない。**
- ユーザー・サービスサイドの**通信に対する理解・認識**や通信側から見たときの**産業やサービスでの通信の位置づけ・使われ方**等に関して、ギャップが存在しているものと思料。
 - 次世代通信規格の導入の必要性や費用対効果（例：WiFiと5Gの違いや導入のメリット、既存通信システムでの必要十分性等）等

【ディスカッションテーマ】

- **今後DXやICTの導入推進が求められると想定される産業や利用シーン**
 - メディア、機械、自動車、医療等でのDXや5G等の次世代技術の導入の見込み
- **プロモーター/サポーター等の立場から見たときに、DX・ICT導入の実態や課題は、どのように見えているか**
 - DXやICT導入の実態や課題、共通して見られるボトルネック
 - 事業者からの実際の要望
- **事業化へのハードルを乗り越えていくために、各プレイヤー3者がそれぞれ/協力して行なうべき取り組み**
 ※支援者からみた目線※
 - 政府や支援機関等の巻き込み
 - 従来とは異なる新たな事業化モデルの実現

● ご発表：B5GPCビジョン作業班

【Beyond5G推進コンソーシアム白書分科会ビジョン作業班】

- 白書作成の取り組みや全体像の紹介
 - 小西 聡（ビジョン作業班リーダー） KDDI総合研究所
- 産業ユースケースの説明（メディア、機械、自動車、医療）
 - 小崎 成治 三菱電機株式会社（機械）
 - 内野 徹 クアルコムジャパン株式会社（メディア）
 - 栗田 大輔 株式会社NTTドコモ（医療）
 - 朱 厚道 華為技術日本株式会社（自動車）

Beyond 5G ホワイトペーパー2.0版の概要

Beyond 5G推進コンソーシアム白書分科会 ビジョン作業班リーダー
KDDI総合研究所

小西 聡

2023年10月19日

企画・戦略委員会

白書分科会

主査：中村（NTTドコモ）

- 2030年代に期待される強靱で活力のある社会を展望し、Beyond 5Gのユースケースや通信の要求条件と技術を明確化する。
- Beyond 5Gコンセプトを早期にとりまとめ世界的に発信し、ITU含む国際的議論に反映するとともに、国際的なイニシアチブを確立する。
- 多様な業界の意見を積極的に取り込みかつ発信し、あらゆる産業界にとって有益なBeyond 5Gコンセプトを作り上げ、国際競争力強化に貢献する。

ビジョン作業班

リーダー：小西（KDDI総合研究所/KDDI）、サブリーダー：永田（NTTドコモ）

- 2030年頃に想定される社会の検討、ならびに、2030年頃に商用化されるBeyond 5Gに求められるユースケースや要求条件に関わる検討を行い、白書にまとめること。

技術作業班

リーダー：中村（富士通）、サブリーダー：下西（NEC）

- Beyond 5Gで利用される技術の動向等について検討を行い、それらが利用者や市場に提供する機能・価値・果たす役割・期待などを明らかにし、白書にまとめること。

周波数作業班

リーダー：本多（エリクソン・ジャパン）

- 6Gに向けた周波数資源の国内外動向調査および検討を行い、白書にまとめること。

WP5D対応Ad Hoc

主査：菅田（KDDI）、副主査：武次（NEC）

- 白書分科会の議論結果を踏まえたITU-R WP5Dへの対応方針策定と寄書のドラフト作業等

□ 1.0版 :

- Beyond 5Gの要求条件やユースケースに関する材料を集めるため、独自に調査するとともに、
「2030年社会検討ワークショップ」を開催
- 短期間ながらも、調査内容をもとに、初版を完成

□ 1.5版

- **Beyond 5Gを象徴する図と利用シナリオを作成**
- さまざまな業界へのヒアリング結果を白書に反映

□ 2.0版

- 5Gの振り返り結果を白書に反映
- **4章の記載内容を統一するとともに、
各業界から求められる要件を表として記載**



- 2021年から開始した「2030年社会検討ワークショップ」を**2022年も開催**
- 白書を用いて**全業界に対してヒアリングや意見交換**を行い、2.0版に反映

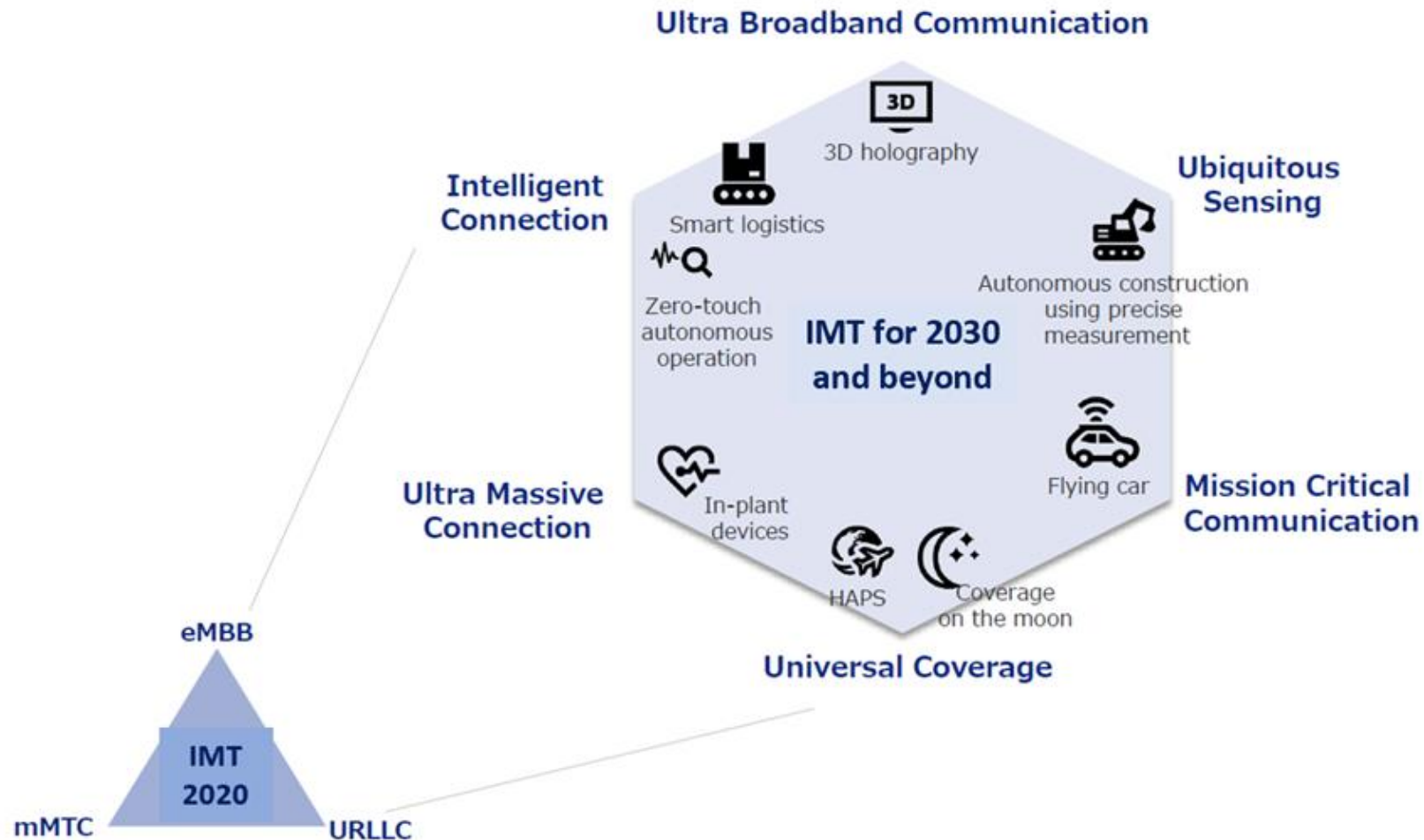
**Beyond 5Gの活用
例：112件**

2030年社会検討ワークショップで講演いただいた合計24の企業・団体・個人

2021/ 6/15 : 第1回	テレコムサービス協会
	産業技術総合研究所
7/20 : 第2回	善光会 (介護)
	東日本旅客鉄道
	日本CFA協会
	フジテレビ
	医療未来学者 奥 様
8/3 : 第3回	文部科学省科学技術・学術政策研究所
	PREVENT (医療)
	Telexistence (ロボット)
	アーチ (アニメ)
	アスラテック (ロボット)

9/14 : 第4回	東芝
	Quora
	宇宙航空研究開発機構
	科学技術振興機構
10/12 : 第5回	マツハコーポレーション (宇宙)
	ヤマト運輸
	Shiftall (VR)
12/14 : 第6回	トヨタ自動車
	大林組様
	らでいつしゅぼーや 創業者 徳江様
2022/ 7/12 : 第7回	京都大学 高等教育研究開発推進センター
11/8 : 第8回	ユニアデックス

白書分科会の参加者からの提案をもとに、日本としての提案をまとめ、 ITU-R WP5D Workshopにて発表





<https://b5g.jp/output.html>

1. はじめに
2. トリヒットトレンド
3. 通信業界のマーケットトレンド
4. 他業界から得られたトレンド
 - 4.1 金融
 - 4.2 建設・不動産
 - 4.3 物流・運輸
 - 4.3.1 倉庫、物流
 - 4.3.2 航空
 - 4.3.3 鉄道
 - 4.4 通信、IT
 - 4.5 メディア
 - 4.6 エネルギー・資源・素材
 - 4.7 自動車
 - 4.8 機械
 - 4.8.1 工作機械
 - 4.8.2 建設機械
 - 4.8.3 農業機械
 - 4.8.4 ロボット
 - 4.8.5 造船（船舶）
 - 4.9 電機・精密・半導体
 - 4.9.1 電気・精密
 - 4.9.2 半導体
 - 4.10 農業・水産業・食料・生活関連
 - 4.10.1 農業・水産業
 - 4.10.2 食品業
 - 4.10.3 生活・文化用品関連
 - 4.11 小売・卸・流通分野
 - 4.12 サービス・公共サービス・法人サービス
 - 4.12.1 医療
 - 4.12.2 行政、教育分野
 - 4.13 飲食業界（外食産業）
 - 4.14 娯楽・レジャー
 - 4.15 学問・その他
 - 4.15.1 宇宙
 - 4.15.2 HAPS
 - 4.15.3 社会
5. Beyond 5Gで求められるCapabilityとKPI
 - 5.1 Beyond 5Gで求められるCapability
 - 5.2 Beyond 5Gを象徴する図と利用シナリオ
 - 5.3 目標KPI

生活、生産・流通、社会インフラ、エネルギー利用などすべての基盤であり、様々な改善による性能、効率、信頼性の向上に加え、センサの進化、ICTの活用によるシステム最適化が進行。

現状分析と課題

1. 労働人口の減少への対応
 - 自動化・省人化、人間との協調
2. 地球環境保護への対応
 - あらゆる段階での環境負荷の低減
3. 生産・エネルギー効率化
 - 設計・製造・物流・運用の最適化
 - ICTの活用
4. 不平等解消への対応
 - ジェンダー・障害・年齢
 - 国・地域・人種

期待する将来像

項目	期待する進歩
設計	<ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔共同作業とデジタルツインによる設計効率の向上 ● 非接触給電、有線ネットワークの無線化を取り入れた設計 ● AI/HPCで燃料効率、機械効率、制御効率の最適設計
製造	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルツイン、つながるサイバー工場最適生産 ● 物流網の効率化と製造場所の分散、地産地消 ● ロボット、AGV、レイアウトフリー工場、3Dプリンタ
自律制御	<ul style="list-style-type: none"> ● AIによる操縦・機械操作の省人化・無人化・自律化 ● 自動運転（センシング精度・密度、測位、最適制御） ● 高精度測位・通信による最適運行制御
活動範囲拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 空、成層圏、宇宙、遠洋、海中、地下のカバレッジ
知能化・人間協調	<ul style="list-style-type: none"> ● 自律ロボット（AIによる制御、作業精度と速度の向上） ● 人間拡張（器官・感覚拡張、多感覚、1対多遠隔操作） ● サービスロボット（コミュニケーション、家電代替）
監視・保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転データの取得（データ種別、サンプリング、対象点数） ● 分析・フィードバック（デバイス/エッジ/クラウドの最適分担）



Beyond 5G/6Gで求められるもの

期待されるユースケース

1 工作・製造過程の知能化・自動化

工程自動生成・改善、超低遅延モーション制御、ダイレクトティーチング、リアルタイムCPS

2 遠隔操作・制御・診断

建機・農機へのロボット技術適用、航空機・船舶への自動運転技術適用、直観的HMI、生産物・飼育物管理

3 柔軟な施工・加工・生産・運用管理

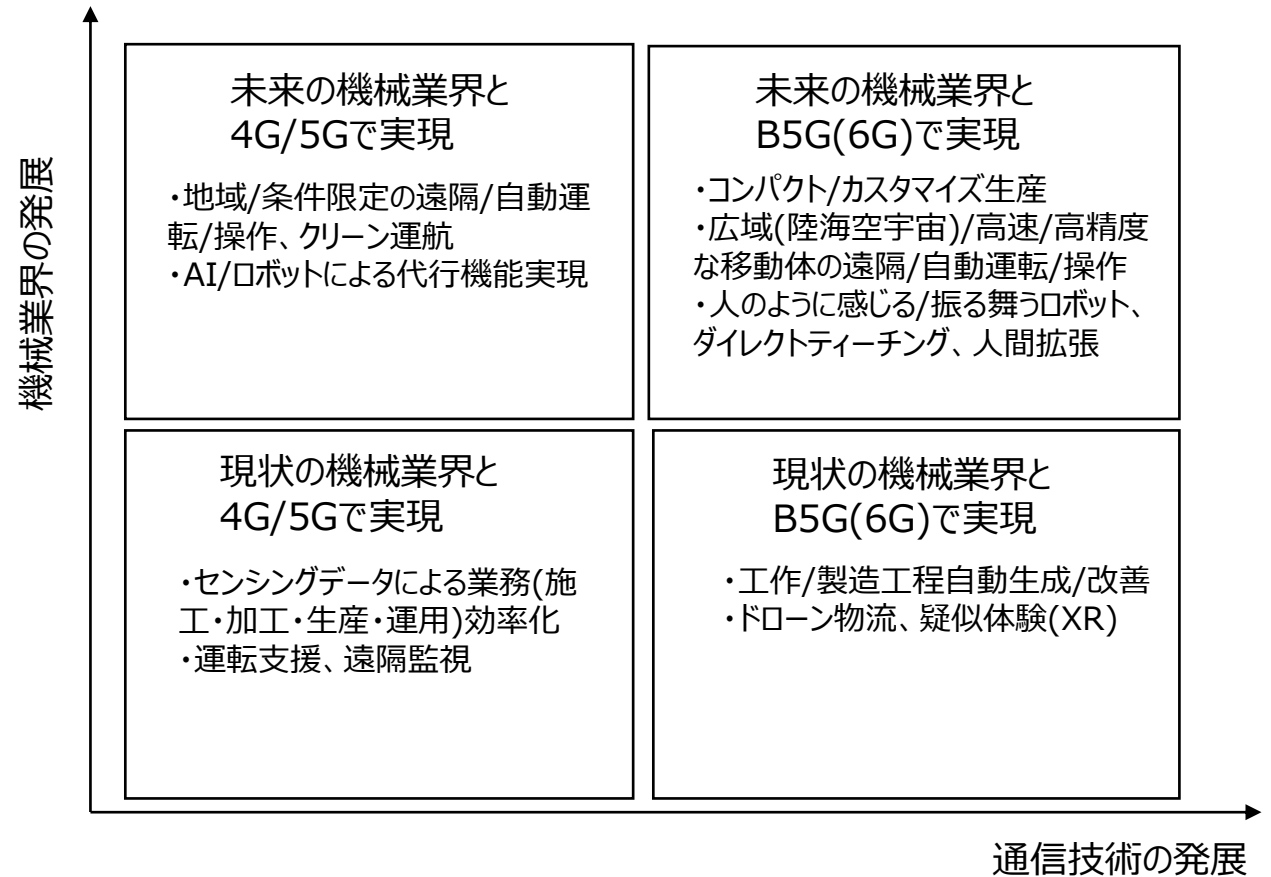
AI・ロボットによるスマートメンテナンス、機器のシェアリング、生産・作業環境条件の反映

4 移動の高速化・省エネ化・快適化

広域・高速移動体の高精度測位・制御、データ活用による航行計画管理、保安検査自動化・高度化、荷物トレース、シームレス移動

5 新しい移動サービス

空飛ぶタクシー、疑似体験



期待する将来像と実現を支える機械技術、通信技術要件

2030年には、仮想空間やホログラフィック技術を活用した、より没入的なメディア体験 (e.g., メタバース) を享受することが可能となる

現状

- ✓ テレビラジオ、出版・広告、SNS など多様なマルチメディアが提供されている
- ✓ 新型コロナウイルス流行により、コンテンツのデジタル化が加速 (e.g., オンラインライブイベントなど)

オンラインライブイベント



Source: <https://lineblog.me/livepress/archives/13261786.html>

期待される将来像

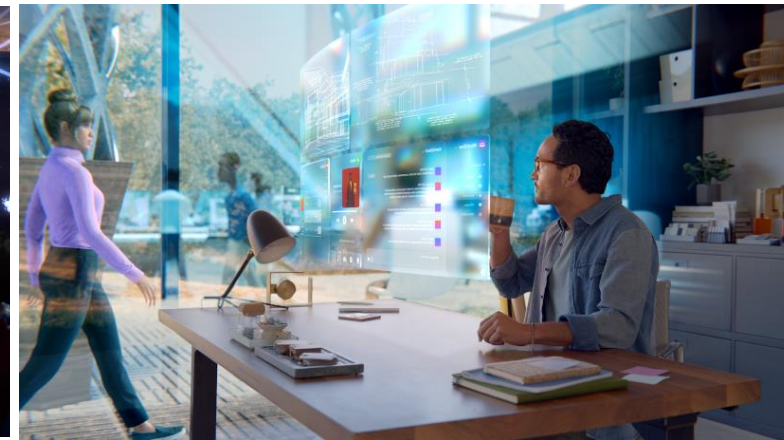
- ✓ 全てのコンテンツがインターネット経由でアクセス可能。同様に、個々人のよりリッチなコンテンツを場所・時間・デバイスによらず、より簡易に配信。
- ✓ 仮想空間やホログラフィック技術の活用
- ✓ 各ユーザに対するカスタマイズによる、より効率的なコンテンツ配信

仮想空間を活用したエンターテインメント



Source: https://about.meta.com/what-is-the-metaverse/?utm_source=about.facebook.com&utm_medium=redirect

ホログラフィック技術



- Beyond 5Gに求められるハイレベルな要件（コンセプト観点・技術観点）を下図に示す。
- 求められる具体的な性能例として、ホログラフィックコミュニケーションに必要と考えられる **数10～数100 Gbps**のピークスループットが想定される。

下図の黒線は、コンセプト観点と技術観点の関連を示す。

コンセプト観点

技術観点

高いアクセス性

無線通信拡張

- 誰でも・いつでも・どこでも・どのような端末でもアクセスが可能
- 各ユーザが自身のコンテンツを配信することが可能。
- リッチかつ多様なマルチメディアアプリケーション開発者コミュニティを可能とするグローバルエコシステムの構築。

- さらなる周波数利用効率向上、カバレッジ拡張、低遅延化

より没入的なメディア体験

アーキテクチャ・プロトコル拡張

- ホログラフィックコミュニケーションやインターネットの身体所有を含むさらなる没入型メディア体験をサポート

- 放送と通信の両方を用いた効率的なコンテンツ配信を可能とする無線アクセス、NWアーキテクチャのサポート

パーソナライズ

AI/MLの活用

- 個々のユーザ・視聴環境・視聴デバイスに適応したサービス提供

- AIを使った多様なパーソナライズ/カスタマイズの実現

現状分析と課題

- 超高齢化社会との共生
 - 社会課題解決先進国として日本から世界への課題解決展開に期待
- 未知の疾患への対応
 - 生活・医療・経済への影響の抑止。迅速な対応、ソリューションに期待
- 医薬品・医療機器開発テクノロジーの発展
 - 世界的に研究開発が加速しており、日本として最高水準の医療技術の実現、牽引を期待

期待する将来像

1. 身体機能の補助及び再現



出典：厚生労働省ホームページ

加齢により衰えた身体機能を補助及び再現

2. 未知の感染症への速やかな対応



出典：内閣官房長(感染拡大防止特設サイト)

感染症発生時の速やかな対応と早期解決

3. 医療技術開発



出典：AMED (成果情報)

ビックデータの構築及びAIの精度向上等による最先端の医療技術開発

4. 超高齢化社会対応



出典：厚生労働省ホームページ

医療の地域的偏在の解消や医療のシステム化

5. 健康寿命延伸



出典：厚生労働省ホームページ

病気早期発見や手術などの治療によるリスク低減

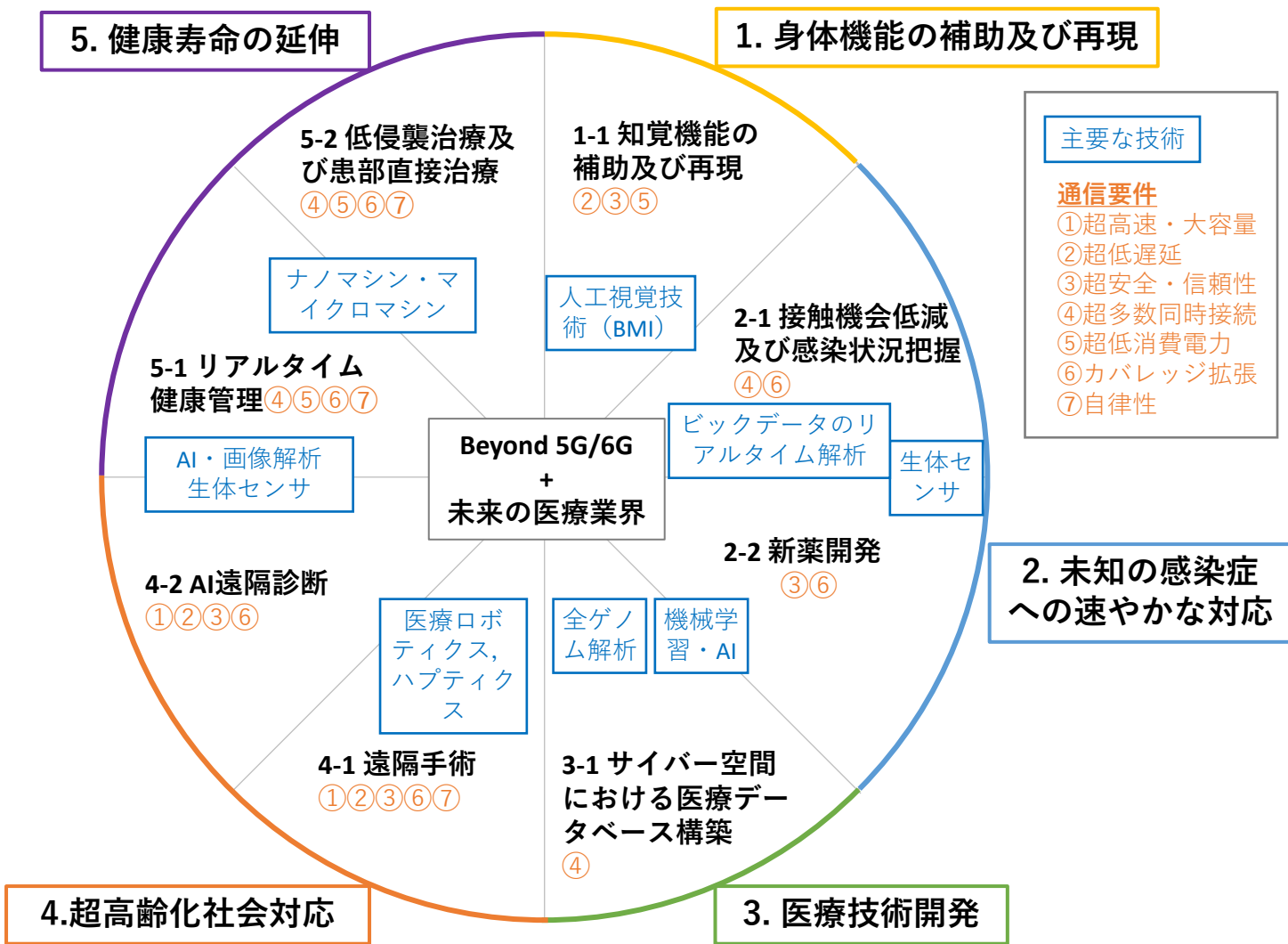
Beyond 5Gで求められるもの

期待されるユースケース

- 1-1 知覚機能の補助及び再現**
人間/能力拡張、ブレインテック
- 2-1 接触機会低減及び感染状況把握**
位置、生体情報のリアルタイム管理、センシング
- 3-1 ゲノム解析のデータベース化**
AI創薬、個別化医療
- 4-1 遠隔手術**
手術支援ロボティクス、AIとの融合
- 5-2 低侵襲治療及び患部直接治療**
ナノマシン・マイクロマシン連携、外部制御/給電

Beyond 5Gに求められる要求条件

- 遠隔施術**
- ・ **数十Gbps超**の超高速・大容量（高精細映像伝送）
 - ・ **10⁻⁷**の超安全・信頼性（操作情報伝送）
- 低侵襲治療・患部直接治療**
- ・ **数～数十ミリオン/km²**のデバイスの超多数同時接続（数から数十個のデバイスを注入かつ電車内密度）
 - ・ ゼロタッチで機器が自律的に連携（デバイス連携）



期待する将来像と実現を支える医療技術、通信技術要件

自動車業界

—Beyond 5G ホワイトペーパー2.0版—

エディター： 華為技術日本 朱 厚道

高齢化社会は地方での移動に制約を与え、都市部での人口集中は交通渋滞を引き起こす。
すべての人々が居住地に依存せずに自由に効率的な移動を確保できる社会が求められる。

現状分析と課題

- 人手不足により地方における公共交通手段の維持が難化し移動の自由が制約。都市部では人口集中により交通渋滞を招き、人々の生活に悪影響を及ぼす。
- エネルギー・環境問題や高齢化に起因する交通事故の問題に対する社会の危機意識の高まり。
- すべての人に**移動の自由や効率的な移動**を提供する**モビリティ・インクルーシブな社会**の実現
- 高度な**自動運転や安全運転支援**をつかさどる強靱なインフラの整備と低炭素化社会の両立

期待する将来像

1. すべての住民が自由・効率的に移動できる社会



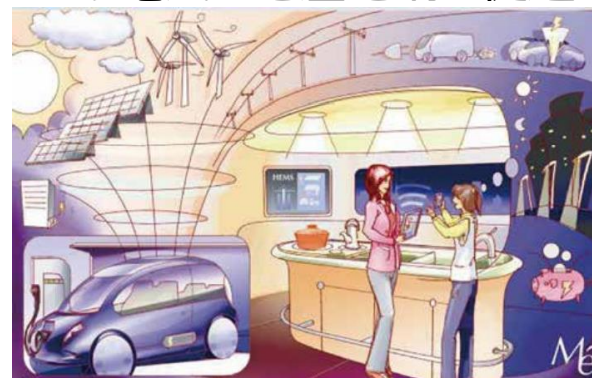
出典：ITS Japan (ITSによる未来創造の提言)

2. マルチモーダルな移動手段を管理するMaaSプラットフォーム



出典：ITS Japan (ITSによる未来創造の提言)

3. クルマとスマートシティの連携により電気の地産地消を促進



出典：ITS Japan (ITSによる未来創造の提言)

4. モビリティ・インクルーシブを実現するデジタル空間



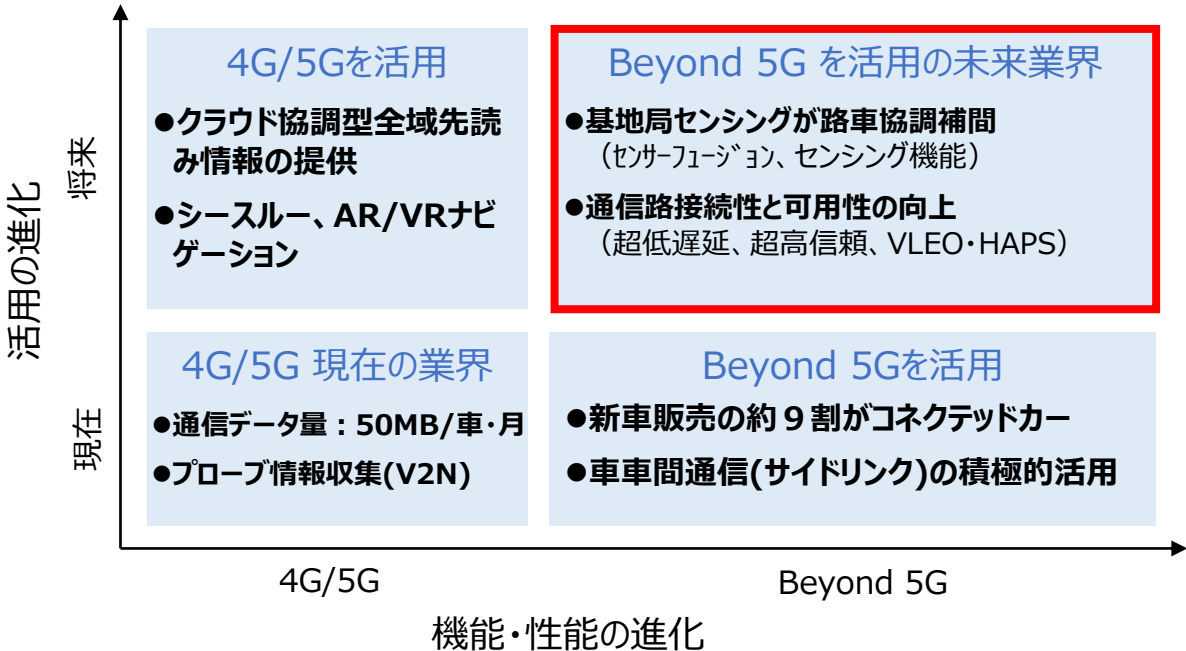
出典：首相官邸 (官民 ITS 構想・ロードマップ)

2030年代の自動車社会の実現に向け、Beyond5Gでは 高精度センシングと通信の融合、AI分散学習・推論、超高信頼性が必要となる。

Beyond 5G で求められるもの

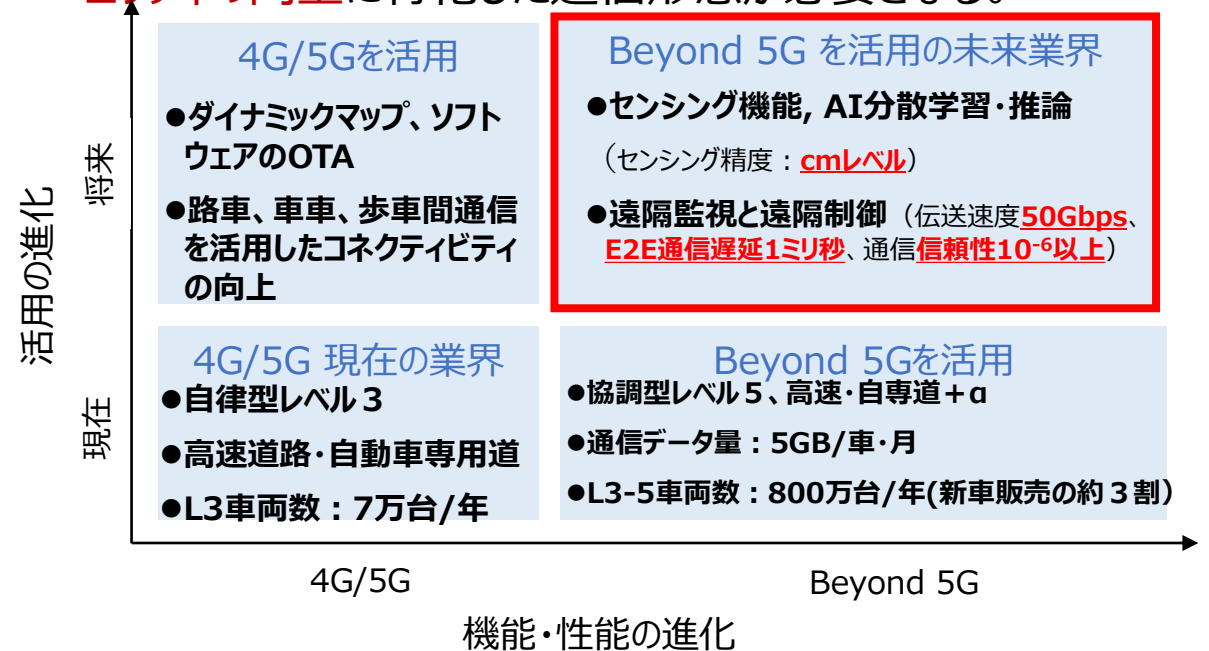
安全運転支援

信号の無い交差点、悪天候下や災害発生時での運転においても、安全性を確保するため、Beyond5Gの**センシングの活用**や**通信路接続性能の向上**が必要となる。



自動運転

自動運転の社会実装を加速するために、**通信とセンシングの融合**、**AI分散学習・推論機能**や量子暗号により**セキュリティの向上**に特化した通信形態が必要となる。



	超高速・大容量	超低遅延	超多数同時接続	超安全・信頼性	超低消費電力	時刻同期精度	測位・センシング	カバレッジ拡張	自律性	その他
車両センサー情報を活用したダイナミックマップの更新	数Gbps/ユーザー, 数10Gbps/セル									
遠隔運転における遠隔監視と遠隔制御	~50Gbps	E2E通信遅延1msec		10 ⁻⁶ 以上						
安全運転支援における集団的知見; 車両のセンサー情報をインフラ側で補完(センサーフュージョン・シェアリング)	~1Gbps	E2E通信遅延1msec		10 ⁻⁶ 以上			cmレベルのセンシング精度			
車両や路側機と、衛星やHAPSとの通信によるカバレッジの拡張、緊急時災害支援など								○		
複数の車両や基地局(エッジクラウド)に基づく分散型学習と推論	○	○							○	
OTAによる車両プログラムのアップデートの管理など	○			量子暗号通信の適用						



- ご発表：高野 雅晴 株式会社ビットメディア 代表取締役社長/
第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）アプリケーション委員会 利用シーンWG 主査

当日投影のみ



- DXや5G等の次世代技術の導入が見込めそうな産業
 - メディア、機械、自動車、医療やそれ以外の分野
- 特定の産業におけるトピックや注目している動き

- ユーザー、支援先等におけるDXやICT導入の実態
 - ユーザー等が持たれている課題感やみなさまへの要望
- 課題やユーザー等にみられる共通的なボトルネックやハードルはなにか（だいたいどこで止まることが多いか）

- 事業化を実現していくにあたって、これから求められていく推進の仕方や心構え
 - 既に多様なサービスが存在し、ユーザーのニーズの移り変わりが激しくなる中、どのように事業を創出していくことが求められるか
- 政府や支援機関等を巻き込んでいくにあたって、どのようなアプローチ（政策提言等）が必要か、または実施されているか
- ユーザーからの要望等も踏まえ、今後こういった支援制度があるとよい/できるとよいと考えるか

ワークショップ※	テーマ・議論内容	パネリスト
第1回 10/19 10時～12時 (オープン開催)	DX・ICTの導入支援、プロデュースについて、事業の実態や課題感 <ul style="list-style-type: none"> ・ その中で直面するユーザーの悩みごとや導入が進まない障壁等 ・ 求められる支援策やユーザーへのアプローチ方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社インフォシティ ・ 株式会社ビットメディア ・ TIS 株式会社 ・ 東京都産業技術研究センター ・ 一般社団法人 Govtech協会
第2回 12月頃 (クローズド開催)	各業界におけるDX・ICT導入促進のトレンドや通信の使いどころ、ニーズや課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス ・ 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ ・ 通信側の機能的な面での期待値やギャップ 	各回、複数の分野（2～3分野、4～5社程度）の方をお呼びし、それぞれの分野の視点でのニーズや課題等についてディスカッションを行う ※各回の対象分野及び出席者は日程調整後、決定予定※
第3回 1月頃 (クローズド開催)		<div style="background-color: #4a86e8; color: white; text-align: center; padding: 50px;"> <h2>当日投影のみ</h2> </div>
第4回 2月頃 (オープン開催)	とりまとめた社会実装プロジェクト案のブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した社会実装プロジェクト案を基に、実装に向けて必要な要素や課題等について深堀検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回～3回までにご参加いただいた招聘候補者

※各回の参加可能範囲について（原則）

オープン開催：パネリスト（外部招聘者等）+B5GPC会員全員

クローズド開催：パネリスト（外部招聘者等）+白書分科会ビジョン作業班及び技術作業班、周波数作業班

閉会

ご参加ありがとうございました。